

# 岡山大学病院改革プラン(令和6<2024>年度～令和11<2029>年度)

改革プランの概要: ①高度次世代医療・異分野融合イノベーションにつながる研究推進、  
②持続可能な地域医療提供体制の構築、 ③地域・世界で中核的に活躍する次世代医療人の育成・輩出

## 岡山大学病院の現状と課題

- 大学病院運営: 人員配置の適正化
- 臨床研究・産学連携: 研究時間の減少

- 医療人材育成: 教育教務(講義・実習)の負担増加
- 診療・医療連携: 働き方改革の実質化
- 財務・病院経営: 赤字決算

## SWOT分析

- Strength(強み): 小児・周産期医療、高難度手術、移植医療など
- 現状と課題を多角的に分析し、伸ばす領域と限定すべき領域を明確化
- Opportunity(機会): 肺の悪性腫瘍など

### 運営改革



- 1.大学病院の役割・機能の再確認
  - デジタル田園健康特区事業の推進
- 2.病院長のマネジメント機能の強化
  - 経営戦略支援部: 病院長直下で経営に係る調査・分析・提案
  - 人事専門部会: 組織横断的な視点から適切に人材配置
- 3.大学本部等との連携体制の強化
  - 学長が病院執行部会議に陪席
- 4.人材の確保と処遇改善
- 5.医療DXの促進、地域医療機関との連携強化

当院の役割・機能・強みの再確認、運営改善

### 教育改革



- 1.医学教育改革の推進
  - 医学教育の新たな「学び方」の実現
  - アウトカム基盤型教育の更なる展開を通じた新たな「教え方」の実現
  - 医学教育PDCAサイクルを通じた新たな「教学マネジメント」の実現
- 2.地域と共に高度専門医の養成
  - 実現臨床実習協力機関との更なる連携
- 3.特定行為看護師養成の推進
- 4.多職種連携医療の推進
- 5.外国人医療者研修の促進

アカデミアならではの高度医療人材育成環境の維持及び発展

### 研究改革



- 1.研究を推進するための体制整備と活用、研究環境の充実
  - 研究におけるタスク管理と役割明確化
  - 研究時間の確保: 研究支援の環境
  - 研究に対するモチベーションの向上
- 2.企業等や他分野との共同研究等の推進
  - 医療情報を活用した新しいソリューションの開発と業務の効率化
  - 医療情報を利活用するためのクラウドベースデータマネジメントシステムの導入
  - データサイエンティストの育成

研究推進の体制整備、研究環境の充実

### 診療改革



- 1.岡山県との連携
  - 第9次岡山県保健医療計画と整合した役割・機能の中核を担う
- 2.地域医療機関との連携の強化
- 3.岡山大学病院における労働時間の短縮の推進
- 4.地域医療機関に対する医師派遣(常勤医師、兼業)
  - 他職種によるタスク・シフト/シェア
  - ICTや医療DXの活用による業務の効率化等
  - 医師の働き方改革に資する取組

自治体・地域医療機関との連携強化、働き方改革の推進

### 財務・経営改革

- 1.収入増に係る取組の推進
  - 保険診療収入増に係る取組等の更なる推進、保険診療外収入の獲得
- 2.施設・設備及び機器等の整備計画の適正化と費用の抑制
- 3.医薬品、診療材料費支出の削減
  - 「岡山地域フォーミュラー推進協議会」を設置し、共同価格交渉を開始
- 4.その他財務・経営改革の取組等
  - 事務組織の整備及び事務職員の能力向上の取組み
  - 人件費の削減計画

病院経営の健全化

## 改革ロードマップ

R6年度: 体制構築 ⇨ R7年度: 本格稼働 ⇨ R8年度: 中間評価・改善 ⇨ R9年度: 目標達成 ⇨ R10年度: 改革補強 ⇨ R11年度: 検証・改善

## 岡山大学病院の“ありたい姿”

- 日本屈指の臨床研究拠点
- 持続可能な地域医療提供体制の構築

- 地域医療機関との連携強化による臨床実習の充実
- タスクシフト/シェア等による労働時間の短縮と業務効率化
- 持続可能な病院経営基盤の確立

## 社会的インパクト

- ◆ 我が国の臨床研究の活性化
- ◆ 質の高い実践力のある医師の養成
- ◆ 地域医療の持続可能性向上